

4 エネルギー・資源、循環環境の保全と創造

▶ 現況と課題

◆ 市内の電力需要は、年々増加する傾向にあります。一方、総人口は減少傾向にあり、1世帯あたりの電力需要が増えていることがわかります。

アンケートでは、地球温暖化や資源の枯渇などの地球環境問題に対する市民意識が高い一方でエネルギー対策への関心は低く、省エネに向けて市民一人ひとりの自覚と実践が重要となっています。

また、自然資源に関して外部依存度の高い塩竈において、環境と共生する循環型社会を構築していくためには、地域の特性を活かした自然エネルギーの導入などの取り組みが必要となっています。

◆ 市では、平成5年から資源物収集を実施し、平成13年度の資源化量は総ごみ量の16%を占めるまでになっています。しかし、市民1人あたりのごみの排出量は、年々増加してきています。

また、アンケートや市民環境懇話会の調査からは、ごみの減量には市民一人ひとりの取り組みや、市や事業者の積極的な取り組みが求められており、まち全体でのごみ減量・リサイクル推進が重要となっています。

◆ 市の水道は、豊かな自然の大倉ダムと七ヶ宿ダムを水源とし、良質な水・豊富な水による安定供給を維持しています。

しかし、環境への関心の高まりや、水の資源としての有限性を踏まえ、水の大切さを見つめ直すことが重要となっています。

あわせて、市民がいつでも安心して水道を利用できるように、施設の整備を進めていく必要があります。



資源物収集



都市ガスの天然ガスへの切替



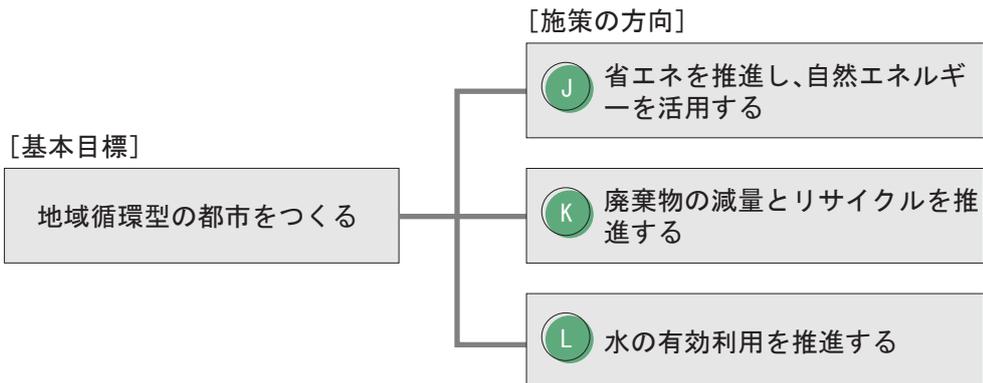
水道についての啓発イベント

基本目標 地域循環型の都市をつくる
(4)

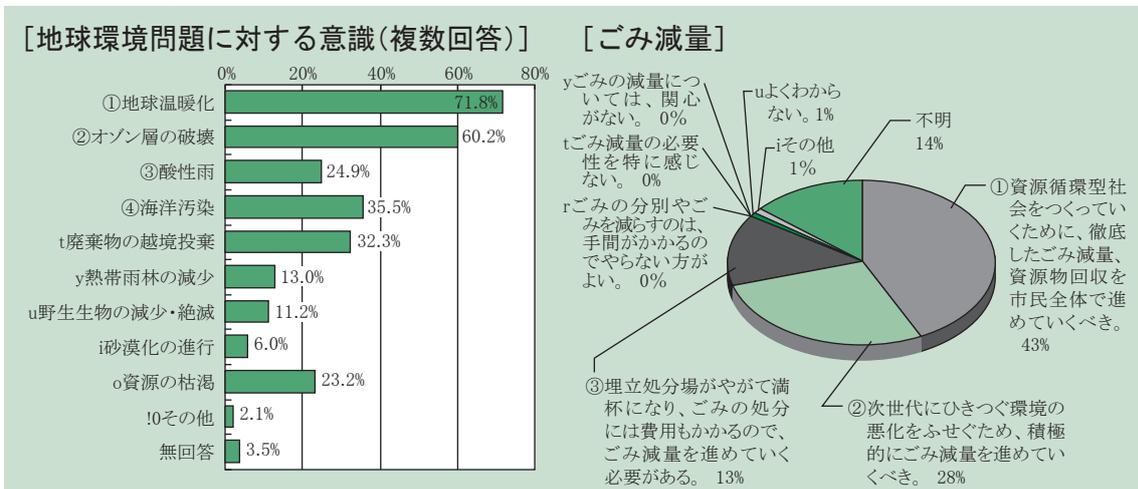
管理指標

- リサイクル率を30%以上に引き上げることを目標とします。
- 一人一日あたりの家庭ごみ排出量を22.4%以上削減(667g以下に)することを目標とします。
- 一人一日あたりの事業系一般廃棄物の排出量を22.4%以上削減(333g以下に)することを目標とします。
- 市内の電力消費量を平成7年度レベル(現況より6%減少)にすることを目標とします。
- 市民アンケートでの循環型社会への取り組みの実施率を、各現況以上に引き上げることを目標とします。

施策の方向



地球環境や身近な環境について市民の皆さんはこんなふうに意識しています…



出典：「平成12年度塩竈市環境アンケート」

市が率先して目標を定め、庁舎や公共施設における省エネを進めるとともに、市民や事業者に対しても省エネを呼びかけ、まち全体で省エネ・省資源に取り組みます。

また、まちの特性を活かした新しいエネルギーの調査・研究を進め、方向性を定めるとともに、自然エネルギーの導入を推進します。

具体的施策

- 市民・事業者の配慮行動の推進を図ります。
 - ◇環境配慮行動指針の普及・啓発
 - ◇市民・事業者の温室効果ガス排出量の調査、削減啓発
- 庁内の省エネルギーの目標を定め、市が率先して省エネに取り組みます。
 - ◇環境率先実行計画の策定、推進
- 公共施設への自然エネルギー導入に向け、新エネルギービジョンを策定します。
 - ◇新エネルギービジョンの策定、推進



子供会での資源回収



リサイクルセンターでのゴミ分別作業



マリゲート塩釜でのフリーマーケット

K 廃棄物の減量とリサイクルを推進する

市民・事業者・市が一体となって、リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用)が日常的に取り組まれるまちを目指します。

そのために、市が具体的な目標を定め、率先して取り組んでいくとともに、一人ひとりが意識を持ってごみの減量・リサイクルに取り組めるよう、市民や事業者への呼びかけ・情報提供など意識啓発と主体的な取り組みの支援の充実を図ります。

具体的施策

- 市民・事業者の配慮行動の推進を図ります。
 - ◇環境配慮行動指針の普及・啓発【再掲】
 - ◇再資源化対策事業の推進
 - ◇ごみ減量化の普及促進
- 市が率先して目標値を定め、庁内事務におけるごみの減量とリサイクルに取り組めます。
 - ◇環境率先実行計画の策定、推進【再掲】
- 市民・事業者によるごみの減量・リサイクルの主体的な取り組みを支援します。
 - ◇地域等での集団回収の支援、推進
 - ◇民間団体等のフリーマーケットなどの推進
 - ◇トレーなどの店頭回収の推進
 - ◇環境優良企業の認証制度の導入
 - ◇家電製品・衣類などの不要品の再使用(リユース)の推進

L 水の有効利用を推進する

安全な水を安定して供給するために、水源水質の保全・施設整備を進めるとともに、塩竈にとって水が限られた資源であるという認識を持ち、節水・有効利用に取り組めるよう、市民意識の高揚を図ります。

具体的施策

- 市・市民・事業者の配慮行動の推進を図ります。
 - ◇環境配慮行動指針の普及・啓発【再掲】
 - ◇環境率先実行計画の策定、推進【再掲】
- 中水の利用を推進していきます。^{*}
- 水源の保全に広域的に協力していきます。

※中水／中水とは上水と下水の中間に位置付けられる水の用途で、排水や雨水をリサイクルして限定した用途に利用するもの。